

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 12 月 7 日 (2006.12.7)

【公開番号】特開 2005-142658 (P2005-142658A)

【公開日】平成 17 年 6 月 2 日 (2005.6.2)

【年通号数】公開・登録公報 2005-021

【出願番号】特願 2003-374601 (P2003-374601)

【国際特許分類】

H 0 1 Q 1/22 (2006.01)

H 0 1 Q 1/32 (2006.01)

H 0 1 Q 1/48 (2006.01)

H 0 1 Q 3/24 (2006.01)

H 0 1 Q 9/38 (2006.01)

【F I】

H 0 1 Q 1/22 A

H 0 1 Q 1/32 Z

H 0 1 Q 1/48

H 0 1 Q 3/24

H 0 1 Q 9/38

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 10 月 20 日 (2006.10.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車室に回転自在に取り付けられる支持軸と、
前記支持軸に形成された回動軸と、
前記回動軸により天井側に回動した位置から光遮蔽位置に回動することができるサンバイザ本体と、
前記サンバイザ本体に形成した放射素子とを備え、
前記サンバイザ本体は、電波透過部材からなる第 1 の光遮蔽部と電波反射部材からなる第 2 の光遮蔽部とを備えることを特徴とする車両用アンテナ装置。

【請求項 2】

前記第 2 の光遮蔽部は、前記放射素子に対してグランドとして動作することを特徴とする請求項 1 に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項 3】

前記支持軸は、その内部を中空に形成した中空部を備え、前記放射素子は、前記中空部を通して前記サンバイザ本体内に導入された給電部材により給電されることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項 4】

前記支持軸あるいは前記回動軸は、前記放射素子と高周波的に接続される給電部材を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項 5】

前記サンバイザ本体は、前記放射素子と接続される送受信機回路およびアンテナマッチング回路のうち少なくとも 1 種類の電子回路を構成する回路基板を備えることを特徴とする

る請求項 1 または 2 に記載の車両用アンテナ装置。

【請求項 6】

前記放射素子は、複数のサンバイザ本体部にそれぞれ設けられ、前記放射素子は、それぞれ受信部を備え、前記受信部での受信状態が最良の受信状態となるように前記アンテナを切り替えながら電波を受信する受信制御部を備えることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の車両用アンテナ装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、上記目的を達成するため、車室に回転自在に取り付けられる支持軸と、前記支持軸に形成された回動軸と、前記回動軸により天井側に回動した位置から光遮蔽位置に回動することができるサンバイザ本体と、前記サンバイザ本体に形成した放射素子とを備え、前記サンバイザ本体は、電波透過部材からなる第 1 の光遮蔽部と電波反射部材からなる第 2 の光遮蔽部とを備えることを特徴とする車両用アンテナ装置を提供する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

前記第 2 の光遮蔽部は、前記放射素子に対してグランドとして動作することが好ましい

。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】